

各位

上場会社名 株式会社 ナ・デックス
 代表者 代表取締役社長 桑原 敏郎
 (コード番号 7435)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 福島 國彦
 (TEL 052-323-2211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年6月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年4月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年5月1日～平成21年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,100	45	35	15	1.61
今回発表予想(B)	6,910	△446	△402	△398	△42.68
増減額(B-A)	△5,190	△491	△437	△413	
増減率(%)	△42.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年4月期第2四半期)	16,284	345	316	79	8.53

平成22年4月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,810	400	455	270	28.95
今回発表予想(B)	20,010	29	98	57	6.11
増減額(B-A)	△8,800	△371	△357	△213	
増減率(%)	△30.5	△92.8	△78.5	△78.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年4月期)	26,719	136	83	△203	△21.78

平成22年4月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年5月1日～平成21年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,720	5	20	10	1.07
今回発表予想(B)	6,000	△335	△318	△289	△30.98
増減額(B-A)	△4,720	△340	△338	△299	
増減率(%)	△44.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年4月期第2四半期)	14,831	408	372	135	14.48

平成22年4月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	310	345	190	20.37
今回発表予想(B)	17,400	1	36	21	2.25
増減額(B-A)	△7,600	△309	△309	△169	
増減率(%)	△30.4	△99.7	△89.6	△88.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年4月期)	24,219	390	370	113	12.19

修正の理由

《個別の理由》

昨年からの金融危機に端を発した景気後退により、当社の製造販売事業の主要得意先である自動車関連企業では、新車販売に下げ止まりの兆しがみられるものの、設備投資には慎重な姿勢が見られ、依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況の中で、当社の主力商品である自動車関連企業からの設備案件は、前年下期の引合い状況と類似した推移を辿っていたことから、売上高予想について第2四半期累計期間は前年下期並みの92億円と、通期は設備投資の好転を見込み225億円といたしました。顧客の設備投資の見直し・抑制が続いており早期の回復が見込めないため、第2四半期累計期間は60億円と、通期につきましても149億円へと大幅な減少を余儀なくされました。

また、自動車関連企業の設備投資の回復時に備えるとともに、それ以外の業界へもショールームを活用するなどの提案性の高い積極的な営業展開を進め、新商品・新規市場の開拓による売上高の拡大を図り、第2四半期累計期間には15億円を、通期には25億円を上記の売上高予想に加算して前回発表予想の売上高といたしました。その成果には今しばらくの時間を要する状況であり、当初見込んだ時期に比べ遅れております。よって、新商品・新規市場の開拓による売上高予想につきましては、第2四半期累計期間は寄与せず、通期は前回発表どおりの25億円を予想しております。

上記の理由により、第2四半期累計期間個別業績予想の売上高につきまして、前回発表の107億円を60億円に修正し、あわせて各利益につきましても経費節減に努めてまいりましたが、売上高の減少に伴い前回発表の数値を修正いたします。通期個別業績予想につきましては、引続き利益重視の営業活動、経費削減に努めてまいりますが、第2四半期累計期間までの売上高・利益の減少を補いきれず、売上高につきましては、前回発表の250億円を174億円に修正し、あわせて各利益につきましても売上高の減少に伴い前回発表の数値を修正いたします。

《連結の理由》

個別業績予想の修正の理由と同様であります。

以上